

授業概要

本講義の前半では、「パーソナリティ」およびその研究知見、測定法について紹介する。また、パーソナリティと健康、文化、犯罪などの関連についても講義する。後半では、パーソナリティと関連が深い「感情」についての基本的理論、感情と認知、感情の制御に関して講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	パーソナリティとは何か
第 3 回	類型論と特性論
第 4 回	特性論に基づく心理検査
第 5 回	性格の 5 因子論と心理検査
第 6 回	発達とパーソナリティ
第 7 回	文化とパーソナリティ
第 8 回	犯罪とパーソナリティ
第 9 回	心身症とパーソナリティ
第 10 回	共感性と援助行動
第 11 回	感情の機能
第 12 回	感情の理論：抹消起源説・中枢起源説
第 13 回	感情と認知：情動の二要因説・表情フィードバック仮説
第 14 回	感情の制御：バイオフィードバック・マインドフルネス
第 15 回	感情が行動に及ぼす影響
第 16 回	試験

到達目標

- ・ 類型論と特性論の違いを理解できる。
- ・ 心理検査を行う上での注意点を指摘できる。
- ・ 感情に関する理論を概説できる。
- ・ 感情の機能について説明できる。

履修上の注意

- ・ 質問は、講義内でも応じるので、わからないことはそのままにしないようにすること。
- ・ 主に講義形式で行うが、グループワークなども行うので積極的に参加すること。
- ・ 公認心理師の受験資格取得科目である。

予習・復習

- ・ 予習として講義内容に含まれるキーワードについて調べること。
- ・ 復習として講義で用いた資料を読み返すこと。

評価方法

試験の結果 70%、毎回の授業課題 30%を総合した上で評価を行う。

テキスト

特に指定しませんが、講義にて適宜紹介いたします。
講義は配布資料に基づいて進めます。